

目指す生徒像	○社会の変化に対応できる思考力・判断力・表現力を身につけた生徒の育成 ○平和を愛し、人権やルールを大切に作る人間愛に満ちた生徒の育成 ○運動能力を高め、健康で安全な生活を営む生徒の育成	達成度	A	十分に達成した(80%以上)
本年度の重点目標	・家庭、地域との連携を図るため、教育活動を広報する。 ・生徒、保護者、地域の声を反映させ、特色ある教育活動を展開する。 ・全教育活動、教育場面を通して、自他の「命」を最優先して尊重する態度を育てる。 ・基本的生活習慣を確立させ、豊かな人間性と創造性を備えた生徒を育成する。 ・基礎・基本を定着させ、情報化社会に積極的に対応できる能力を養う。 ・勤労を重んずる精神を養うとともに、個人の適性に応じた進路指導を推進する。		B	概ね達成した(60%以上)
○開かれた学校 ○豊かな心の醸成 ○確かな学力の育成			C	あまり十分でない(40%以上)
			D	不十分である(40%未満)

現状と課題	課題解決の取組	自己評価	改善充実策	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者評価
安全教育・安全管理 登下校時の交通安全意識の向上のため、年に1度、交通安全講話を行っており、学校生活を軸にした安全意識の向上や命の尊さについて、生徒が主体的に意識できる環境づくりを行っている。 加えて、東南海地震に備えた防災訓練も学校全体で行うことで、防災意識の向上にも取り組んでいる。	生徒指導部が主となり、交通安全講話における特設LHRの実施。また、LHRの時間での地震対策における避難訓練では、生徒・教職員全体で行い、地震の後の津波に対応する形での訓練も同時に取り入れ、避難場所の違いなども認識させる。このことで、生徒個人に、主体的でかつ、即時の判断力の育成と向上を促す。	交通安全講話を実施し、実際に起こった事故を教訓に自転車における交通安全の向上を適宜促し、各種行事及び式典を安心かつ安全に執り行うことができた。 生徒一人ひとりが、学校生活を安心・安全に送ることができるよう各分掌や管理職と情報共有を行い、学校全体で防災教育(避難訓練)に取り組むことができた。	生徒たちが心豊かな学校生活を送れるよう、学校行事等を創意工夫し、命の尊さ、自尊感情の向上、他者を思いやり行動する共助の心を育むことができるよう取り組む。 防災教育については、近隣の消防署などの指導助言を受けながら指導し、東南海・南海地震に備え、避難訓練などにも色々な工夫を加味していく。	A	地域の豊かな人的資源を活かし、幅広い見識が習得できるよう学校行事等において創意工夫する。 また、生徒たちが安心・安全な学校生活を送るために、危機管理、危機意識の向上や防災教育の充実を図り、継続して取り組む。 そして、定時制教育が地域に理解されるよう、ホームページ等を活用して、情報発信を行っていく。	・近年問題となっている闇バイトに関して学べる機会があり良かったと思う。物価高騰の今の時代に生徒が直面しやすい問題の事案だと思う。生徒が今まで以上に危機感を感じてもらえたらいいと思う。
生活指導 様々な事が要因となり不登校や他校を自主退学した生徒等がいる。学校生活を通して前向きな思考や人と繋がる喜び・楽しさを感じる事ができる行事の実施や環境を創る事が課題である。また、同時に現代におけるSNSでの犯罪に巻き込まれないようにすることも課題である。	生徒各個人が抱える課題に対し、教職員、SC、保護者、外部機関等が連携強化を図り、チームで対応する。加えて、様々な行事を通して体験・経験し、前向きに物事を捉えていけるよう支援を行う。そのため、教職員間の連携、生徒への声かけ等を大切にし、声・思いを形に変えて生徒と一緒に行っていく行事に取り組む。	生徒一人ひとりが抱える課題に対し、教職員・SC・保護者・外部関係と連携し、対応する体制を構築することができた。 また、体験的な行事や日常的な声かけを通して、生徒が前向きな気持ちを持って学校生活を送れるよう支援を行った。 そして、SNSを起因としたトラブルへの対応や未然防止については、県警の方に講演していただいた。	・教職員間での情報共有をより密にし、生徒の変化を早期に把握できる体制を強化する。 ・SNSトラブル防止について、引き続き県警の方に講演していただく機会を確保していきたい。 ・生徒への日常的な声かけを意識し、安心して相談できる雰囲気づくりに努める。	B	課題 ・SNSを通じたトラブルの未然防止と早期対応。 ・生徒が悩み抱え込まず相談できる体制のさらなる強化。 改善策 ・闇バイト等のSNSトラブル未然防止のため県警の方に現状や回避等の講演を行う。 ・教職員、SC、外部機関の連携をさらに深め、組織的な生活指導を推進する。	・SNS等のトラブルについては引き続き未然防止と早期対応をお願いします。困ったときに相談できる体制の充実も引き続きお願いしたい。 ・人数が少ない中ではあるが、生徒同士の交流ができるような学校行事の実施を今後もお願いしたい。 ・各行事における生徒の参加率が改善されていて良かった。引き続き、生徒の意向に合うような形で活動できるようコミュニケーションをお願いしたい。
学習指導 本校入学前に不登校であったり、学校を休みがちであった生徒が依然として多く、そのような生徒が積極的に学習活動に取り組めるよう、適切な対応が必要である。また、多様な個性や学習状況を持つ生徒たち個々に対応した指導が必要である。 生徒にとって分かりやすく理解が深まる授業の実現をめざす。	学び直しの観点から基礎学力の定着を目指し、「既習事項の確認」、「反復練習」、補助教材やプロジェクト等のICTツール活用等でわかりやすく理解が深まるように工夫した授業改善に取り組む。生徒の個性や学習状況を考慮して個に応じた指導を行い、一人一人の生徒の力を伸ばす取組を進める。また、少人数のクラス構成を生かし、個々の生徒とコミュニケーションを取りながら、生徒の興味・意欲を高める授業展開を心がける。 欠課時数が増加傾向にある生徒は、随時指導を行い、家庭と連絡を密にして、細やかな指導を行う。	基礎・基本の定着を図るために、生徒の特性に合わせた指導方法や教材開発を行った。特に、電子黒板やプロジェクト等のICTツールを活用して授業内容や課題を視覚化し、生徒の理解と興味を深めることができた。少人数クラス構成の利点を生かし、個々の生徒とコミュニケーションをとりながら、興味・関心等に応じてきめ細かい指導や支援ができた。また、授業で得た知識や技能が資格取得につながり、生徒の学習意欲が向上した。	今後も基礎・基本を定着させるための手法や内容を検討する必要があり、個々の生徒の学力や特性を見極めながら、全職員の共通理解のもと、指導方法や教材開発を行っていく必要がある。特に個々の生徒の可能性を引き出せるように、少人数によるきめ細かな指導の充実を図り、切れ目のない指導を心がける。また、学校生活を意欲的に取り組めるように生徒の出席状況、授業態度、生活態度及びその変化等の情報共有を教員間で十分行う必要がある。	A	多様な個性や特性と学習状況を持つ生徒の自己実現に向けて、卒業までのカリキュラムと学習環境をさらに整える。生徒の興味・関心を持たせ、積極的に学習活動に取り組ませるような授業を展開し、生徒のコミュニケーション能力も育成できるように工夫する。欠課時数が多い生徒への対応は生活習慣等多面的に捉えて指導と支援をする。また、学習意欲が高い生徒や進路希望が明確な生徒に対応した学習環境を充実させる。	・授業に関する生徒の評価アンケートにおいて「あまりあてはまらない」と回答している生徒が一定数いる。一人ひとりの興味・関心や意欲を引き出すのは難しいが、引き続き授業の充実をお願いしたい。
進路指導 年度当初の調査では、卒業予定者4名全員が就職希望である。(学校幹旋希望3名、縁故採用1名) しかし、応募前企業ガイダンスへの参加希望が1名であるため、就職活動への意欲を高め、早期の就職活動に繋がるように指導を行いたい。 キャリア教育の観点から進路LHRを充実させる。	夏休み前後からの応募前職場見学が実施できるように生徒に呼びかけを行う。 和歌山市内を中心とした和歌山県内の求人票を閲覧できるように対処する。 履歴書の記入方法や和歌山県内の企業の紹介など、進路LHRをさらに充実させる。	応募前職場見学を積極的に活用するように指導を行った。 求人票ファイルを作成するとともに、ハローワークのネット求人票を積極的に閲覧するように指導を行った。 履歴書の記入方法と企業研究の方法について希望者へ夏休みに指導を行った。	応募前企業ガイダンス、応募前職場見学を積極的に活用するよう支援を行う。 求人票の検索や履歴書の記入、企業研究の方法についての支援を充実させる。 進路LHRをさらに充実させる。	B	課題 ・卒業予定者への支援 ・進学希望者へのフォロー 充実策 ・進学LHRの開催を検討する。 ・進路LHRでの企業担当者招致 ・卒業学年のみの進路LHRを行う事を検討する。	・2学期のLHRの欠席者が多いのが残念である。どういった企業(職種)がどんな仕事を具体的に知る機会なので生徒には参加してほしい内容だと思う。